

令和 7 年度学校推薦型選抜（夜間主コース）
試験問題

経済学科 [小論文] (SUK2)

令和7年2月8日(土)
10時00分～11時00分

注意事項

- | |
|--|
| 1. 解答始めの合図があるまで、この冊子を開いてはいけません。 |
| 2. 解答始めの合図の後、下段に記載の枚数のとおり問題用紙・解答用紙・
下書用紙があるか確認してください。 |
| 3. 解答を始める前に、解答用紙の所定欄に受験番号を記入してください。
解答用紙に氏名を記入してはいけません。 |
| 4. 試験終了後も監督者が許可するまで退室しないでください。 |
| 5. 問題用紙及び下書用紙は持ち帰ってください。
解答用紙は持ち帰ってはいけません。 |

問題用紙（この表紙を除く）	・・・	4枚
解答用紙	・・・	2枚
下書用紙	・・・	2枚

『答案作成の注意事項』

1. 書き出しは、一マスあけない。
2. 改行したら、一マスあける。
3. 読点には「、」を使用し、句点には「。」を使用し、それぞれ一マスとする。ただし、行の末尾については文字と同じ一マスに含める。
4. 小さな「っ」「ゃ」「ゅ」「ょ」は一マスで使う。
5. 数字と英字の書き方は、下の例に従い、二文字で一マスを使う。

数字例：123 であれば、「12」と「3」で二マス使用。

英字例：abc であれば、「ab」と「c」で二マス使用。

以下の文章は、小野浩『人的資本の論理 人間行動の経済学的アプローチ』（日本経済新聞出版、2024 年）の一部を抜粋したものである。文章を読んで問 1 および問 2 に答えなさい。

著作権の関係上、公表しません。

著作権の関係上、公表しません。

著作権の関係上、公表しません。

著作権の関係上、公表しません。

- (注 1) 人的資本：人的資本とは，人間を企業のコスト要因として捉えるのではなく、人間が身に着けた知識や能力や技能などを資本とみなして捉える概念である。
- (注 2) ベッカー：1992 年にノーベル経済学賞を受賞したアメリカの経済学者ゲーリー・ベッカーのこと。
- (注 3) OECD：経済協力開発機構。Organization for Economic Cooperation and Development の略称。

出典：小野浩『人的資本の論理 人間行動の経済学的アプローチ』，日本経済新聞出版，2024 年，192～198 頁。ただし，出題にあたって，原文にあった小見出し・注・図などを省いた。また，本文中の引用文献の表記について，原文で英語表記で引用元を示していたものについては，著者名を日本語表記に変え，該当箇所を〔 〕で示した。また，原文にない（注 1）～（注 3）を追加した。

問 1 下線部①に「出生率がなぜ低下しているのか」とあるが，著者はこれについてどのように説明しているか。本文に即して，著者の考えを 400 字以上 500 字以内で説明しなさい。
(配点 40%)

問 2 1 人の女性が生涯で産む子の数の指標が「出生率」であり，人口の維持に必要なこの水準は 2.07 であるが，下線部②のように日本は 2022 年には 1.26 という水準を記録している。

日本の出生率の水準とそれへの対応策について，著者の考えを踏まえつつ，あなたの考えとその理由について 400 字以上 500 字以内で述べなさい。

(配点 60%)

採点・評価基準（具体的基準）

教科・科目名	小論文 (SUK2)
実施学部・学科等	人文社会科学部経済学科（夜間主コース）
出題のねらい	問1 出題文の内容を理解し、論理的にまとめてコンパクトに要約する力を有しているか評価するための問題である。 問2 出題文の内容を的確に理解する能力、および出題文の内容を踏まえつつ自己の考えを論理的に表現しまとめることができているかどうか。あわせて、論理的思考及び思考の結果を整理する力を有しているかどうかを評価する設問である。
採点基準	問1 配点 40% 人的資本理論の観点から、次の2点について指摘できているかどうか。第一に、社会・社会経済の進展により人的資本の収益が高まったこと。それにより子育てコストが高まり子供の価格が上昇したため、子供の需要が低下したこと。第二に、女性の人的資本投資が増えた結果、女性の機会費用が高まったこと。 問2 配点 60% ① 出生率 1.26 に対する自分の考えが述べられているか、 ② 出生率 1.26 に対しての「個人レベル」での対策・対応を述べているか、 ③ 出生率 1.26 に対しての政策的な対応や公的支援などの「公的」な支援・対応策について述べているか、 これら3点について自身の考えが示されているか。これらを総合的に評価する。